

JR 九州の駅無人化に反対する署名

趣旨

JR 九州（九州旅客鉄道株式会社）が進めている大分市内の8駅の無人化に反対します。

無人化を進める JR 九州に対して、障がいのある人からは「駅員さんがいなくなると安心して乗れなくなる」「予約をしないと乗れないのは差別」、地域の人からは「高齢者が利用しにくくなる」「地域がさびれる」等と強い反対の声が上がりました。

しかし JR 九州は、7駅の実施を延期したものの、無人化と減便を進める姿勢をまったく変えていません。

JR（日本旅客鉄道）はもともと国有鉄道（国鉄）でした。

地域の交通の要であり、企業の一方的な都合によって、公共交通としての鉄道のあり方を変更し切り捨てることは許されません。

私たちは、JR 九州が公共交通を担いながら、地域とともに歩み発展していく企業としてのあり方を再認識して、その役割を果たすように求めます。

このため、以下の点について JR 九州に対して要求いたします。

- 1、 駅の無人化の方針を撤回すること。
- 2、 減便の方針を見直すとともに、新たな減便等については地元自治体・議会・自治会・住民の了解なしに行わないこと。
- 3、 障がい者をはじめとする様々な住民の JR 九州に対する意見を受けとめ、誠実に回答し、意見交換の場を設けること。

以上

